

小山田 圭一 (オヤマダ ケイチ)

職名	助教
専門分野	中世哲学、形而上学、論理学
学位	博士（学術）

【主な業績等】

項目	年月	概要等
学術論文等：	2007年	A System of Ontology Based on Identity and Partial Ordering as an Adequate Logical Apparatus for Describing Taxonomical Structures of Concepts（共）藁谷敏晴<Annals of the Japan Association for Philosophy of Science, 科学基礎論学会>
	2011年	述定と名辞の単称性に関する三つの原理に基づく論理的存在論（共）藁谷敏晴<『科学基礎論研究』科学基礎論学会>
	2014年	神は自らを無に帰することができるか——トマスの体系における絶対的無の可能性（単）<『中世哲学研究(VERITAS)』京大中世哲学研究会>
	2015年	トマス・アキナスにおける〈現実態における無限の多〉について（単）<『中世思想研究』中世哲学会>
	2015年	「全能 omnipotentia」は何を表示するのか——トマス・アキナスにおける神の能力と被造物との関係 単 『筑波哲学』筑波大学哲学研究会
	2017年	最高から最深への因果——トマス・アキナスにおける最高原因の能力と働きへの道（単）<『中世思想研究』中世哲学会>
	2019年	なぜ一なる存在が多く存在を発出するのか——トマス・アキナスにおける一多問題の一考察（単）<『中世思想研究』中世哲学会>
	2020年	存在の完全性としての能働と一多問題——トマス・アキナスにおける多くのものがあることの根拠としての存在（単）<『中世哲学研究(VERITAS)』京大中世哲学研究会>
所属学会等：		中世哲学会 京大中世哲学研究会 日本哲学会